

わたしの総合型選抜



3年 たにざき わかな
谷崎 和奏さん 宮城県立仙台向山高等学校 出身

MY FAVORITE
TOTTORI

心温まる声かけ、気遣いに感動

「地域調査プロジェクト」で何度も現地を訪れていると、集落の方が「大変だね」と声をかけてくれます。野菜や果物をお裾分けしてくれることも。「鳥取は心の温かい方が多いなあ」と感動しています。

地元とは異なる地域性の中で、地域学を学びたい

私は、中学生の頃から「ジュニアリーダー」として地域のボランティア活動に携わってきたことから、「地域学を学びたい」と思うように。地元近くの大学も幾つか候補に挙げていましたが、少子高齢化・人口減少問題の先進県である鳥取に注目。しかも、鳥大には総合型選抜がある！チャンスを感じてトライすることにしました。

当時はコロナ禍で、オープンキャンパスはオンラインで参加。現役生から、書類の書き方や受験対策をはじめ、ひとり暮らしの様子、課外活動のことまで、具体的な話が聞けたのはすごく良かったです。地域活動に取り組んでいる学生が多いという印象を持ち、「自分もできたら面白そう!」とモチベーションが上がりました。

行き詰まったときは先生や友人を頼ろう!

1次選考を前に志望理由をまとめているとき、考えれば考えるほど「一体私は何がやりたいんだろう」と分からなくなっていました。そんなとき助けられたのが、仲の良い友人とおしゃべり。大学で学びたいこと、将来やりたい地域活動について雑談しているうちに、自分の“核”が定まってきたんです。

グループディスカッションは、時間制限がある中、“他の人の発言を理解しながら、自分の意見を出す”ことが難しくても、練習時に先生から「無理やり結論を出さなくても、まとまればいい」との助言があり、気が楽になりました。本番でも先生の言葉を思い出しながら、自分の意見を出しつつ、皆の意見をまとめる発言もできました。

第2次選考
 選抜方法

スクーリング	課題論文
グループディスカッション	個人面接

詳細は
 こちら→



全文は
 Webで!



わたしの総合型選抜



2年 わたなべ
渡部 さくらさん 兵庫県立八鹿高等学校 出身

MY FAVORITE
TOTTORI

夕日に染まる日本海でリラックス

自転車です約15分、青い日本海と白い砂浜が広がる「賀露みなと海水浴場」は、私のお気に入りスポット。砂浜をのんびり散歩しながら、オレンジ色の夕日が海に沈む様子を見ているだけで癒されます。

地域と教育、両方学べるのは鳥大しかない!

教育熱心な塾の先生に影響され、“教育”に興味を持った私。高校の「科学探究」の授業では、各国の教育方法とGDPの成長率の関係を調査したこともあり、地域と教育のつながりを学びたいと進学先を模索。すると、担任の先生が鳥大の総合型選抜を勧めてくださって。小中高と生徒会長を務めた経験があり、人と話すのが得意な私の個性を活かせる。また、地域と教育の両方が学べることも決め手になりました。

自己推薦・志望理由書は、まずは字数制限を気にせず表現したいことを全部記述。その後、重複部分を削除したり、言葉を置き換えたりして文章を整理。個人面接で詳しく話したい部分は概要だけを記し、質問してもらえるような工夫もしました。

実施形式は様々、対応できるよう可能な限り準備

2次選考の小論文対策では、多角的なアドバイスをもらうため、複数の先生に添削してもらいました。その小論文を基に口頭発表の練習も。過去の口頭発表では、小論文とは全く違うテーマをその場で出されるパターンもあったので、その形式も押さえて対策。結局、本番は前者のパターンでしたが、できる限りの準備は大切です。

グループディスカッション対策を調べると、「進行役はやらないほうがいい」という助言が多い。でも私は、自分の長所が発揮できると思い、あえて立候補しました。総合型選抜は、“自分のことを知り、良さを見つける”受験方法です。日々の些細な出来事も自己アピールの材料としてチャレンジしましょう!

第2次選考
 選抜方法

小論文	口頭発表
グループディスカッション	個人面接

詳細は
 こちら→



全文は
 Webで!

